



市長会見資料
2025年(令和7年)11月26日
政策局SDGs共創室
担当：松永、上野
TEL：918-5335（内線：2380）

あかし対話と共創ウィークを開催しました

明石市では、10月24日（金）から11月1日（土）までの9日間を「あかし対話と共創ウィーク」とし、「対話と共創によるまちづくり」を市内外に発信するとともに、その機運をさらに高めることを目的に、対話と共創に関する様々な催しを集中的に開催しました。

1 ウィーク期間中の主な取組み

(1) 全国の仕掛人大集合（10月24日開催 / 参加者：70名）

対話と共創に取り組む実践者による経験や知恵、思いの発表と参加者との対話セッションを行いました。

■ 明石市内の仕掛人
大野 美代子（明石市連合まちづくり協議会 副会長）・井上 真紀（王子小学校区コミュニティ・センター職員）・畑 智徳（学校教育課 指導主事）・大野 成信（市民とつながる課 事務職員）
■ 全国各地の仕掛人
高木 超（北九州市立大学准教授）・馬袋 真紀（兵庫県朝来市職員）・村田 まみ（福岡県大刀洗町職員）・後藤 好邦（山形県山形市職員）

(2) 首長サミット in あかし（10月25日開催 / 参加者：72名）

対話や共創によりまちづくりを進める首長によるパネルディスカッションを行い、今後も対話と共創によるまちづくりを進めることについての共同メッセージを発表しました。

■ 登壇者
淡路市長 戸田 敦大・生駒市長 小紫 雅史・小布施町長 大宮 透（オンライン） 諏訪市長 金子 ゆかり（オンライン）・掛川市長 久保田 崇・明石市長 丸谷 聡子

(3) 共創PFキックオフイベント（10月31日開催 / 参加者：33名）

異なる分野でまちづくりの取組を実践されてきた方々（市内の企業や学校、まちづくり協議会やNPO法人、あかしSDGsパートナーズ等の関係者）と市各部門の職員が参加し、共創に関する講義や参加者同士の関係の質を向上させるワークショップ、明石市の未来のために話したいこと・生み出したいことについての対話を行いました。

(4) 対話と共創の大交流会（11月1日開催 / 参加者：65名）

ウィーク期間中の取組を振り返りながら、学識経験者・研究者から対話と共創の必要性について講話いただくとともに、参加者自身（7名）が対話したいテーマを提案し、各々に賛同した参加者同士で対話交流を行いました。

■ ゲストスピーカー
加留部 貴行（特定非営利活動法人日本ファシリテーション協会フェロー / 九州大学大学院統合新領域学府客員教授）
■ 共創トークメンバー
三田 愛（株式会社リクルート研究員）・嘉村 賢州（場とつながりラボ home's vi 代表理事）

2 あかし共創プラットフォームについて

ウィークを契機として、市制記念日である11月1日に“もっと”やさしいまち明石をみんなで創っていくために、「あかし共創プラットフォーム」を立ち上げました。

■ 第1回共創ミーティングを開催します

ウィーク期間中に生まれたアイデアや気づきを振り返り、共創プラットフォームのこれからについて対話します。

日時：令和7年12月14日（日）14:00～16:00 / 場所：市役所南会議室棟2階（旧食堂）